

2026 年度 文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験  
2026 年度 スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験  
「国際関係学部」

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

【文芸】

学科・専攻	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
国際関係学科 国際関係学専攻	0	0	0

【スポーツ】

学科・専攻	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
国際関係学科 国際関係学専攻	6	5	4

2. 試験内容

国連のグテレス事務総長が、2023年の「国際教育デー」に寄せたメッセージの一部を抜粋し、受験者に文章内の下線部を翻訳してもらうとともに、教育を複雑な社会の仕組みの中で捉える上で必要な理解力を問う選択問題を出題しました。

3. 出題意図

問1は基礎的な英語力があるかどうか、また問2は国際関係学部で学ぶための基礎知識および国際問題へ向き合う際に必要とされる、批判的思考や複雑な事象の理解力を確認することを意図して出題しました。

問1の文章は、「国際教育デー」に際し、国連事務総長が寄せたメッセージの冒頭の文章で、人権主義を土台にした教育の位置付けと、教育が現在直面する危機的状況について警鐘を鳴らしている箇所です。大学という高等教育機関で学ぶ機会の意義を共有し、志高く入学を迎えてほしいという思いから、この文章を選びました。

問2では、経済的利益一辺倒になりがちな新自由主義的傾向に批判的に向き合えるのか、また多様な利害がある社会で、人権主義一辺倒でも経済利益至上主義にも走らない、複雑な議論を扱える理解力があるのかを判断することを目的として出題しました。

4. 評価ポイント

出題された文章全体の意味を把握できているか、基本的な英単語や用語、および英語表現を知っているか、最近の国際情勢や国際紛争、とりわけ人権主義と新自由主義の衝突といった、国際的な出来事に関する基本的な構図・関係について、どの程度理解しているかを評価しました。

## 5. 解答状況

英語独特の文章構成であったためか、受験生によっては英語の表現の理解に苦勞するケースも散見されましたが、面接官からの助け舟等を上手に利用し、1名の受験者を除き、概ね文章の内容を把握し、設問に答えることができました。

## 6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

出題内容は国際政治、経済、文化などに関する基礎知識と、個々の事象が持つ国際的な意味づけの理解を問う文章です。細かな知識を丸暗記するのではなく、英語の読解力が求められることを前提として、世界と日本で起こっている事柄に日ごろから広く関心を持ち、ニュースを読む・見る習慣をつけていただきたいと思います。

## 7. 進路指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

英語に関しては高校レベルで学ぶ基礎的な文法、単語をしっかりおさえた上で、国際関係（政治、経済、文化など）について書かれた文章を確実に理解できるように、また、新聞やテレビのニュースを一日に5分でもよいので読んだり視聴したりするように、さらに個々の事象のつながりを意識して知識の幅を広げるようご指導をお願い申し上げます。

以上